

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)青山藤ヶ丘病院計画	階数	地上2F
建設地	大阪府藤井寺市藤ヶ丘3丁目333-1	構造	木造
用途地域	準住居、第一種住居、第二種中高層住居	平均居住人員	200人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年9月 予定	評価の実施日	2018年9月20日
敷地面積	2,963㎡	作成者	中野泰輔
建築面積	1,435㎡	確認日	2018年9月20日
延床面積	2,674㎡	確認者	中野泰輔



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 79% (138 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 79% (46 kg-CO₂/年・m²)

④上記+ 79% (46 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.6

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.8

音環境	2.6
温熱環境	2.6
光・視環境	3.3
空気質環境	3.0

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.8

機能性	2.7
耐用性	2.7
対応性	2.9

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.1

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性・地域環境	2.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.7

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.0
効率的	2.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.7

水資源	3.4
非再生材料の	2.4
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.9

地球温暖化	3.8
地域環境	2.2
周辺環境	2.7

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
0	0	
Q1 室内環境 内装材はほぼ全面的にF☆☆☆☆建材を使用する等、室内環境へ配慮した。	Q2 サービス性能 主要内装仕上げ材に耐用年数の長いものを採用する等、サービス性能に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 建物周辺に極力緑地を設け景観に配慮した。
LR1 エネルギー 高効率機器を使用し、省エネルギー性能を高めた。	LR2 資源・マテリアル 節水型器具を使用する等、資源の配慮をおこなった。	LR3 敷地外環境 0

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H30-0083

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)青山藤ヶ丘病院計画					
		建設地	大阪府藤井寺市藤ヶ丘3丁目333-1、327-3、326-1、326-2、325-1、325-2					
		用途/区分	病院					
【評価結果】		CASBEE 総合評価					B-	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						5	
④	エネルギー削減						4	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.8	4	
② みどり・ヒートアイランド対策								
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				2.0		
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0	5	
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				4.0	4	
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
先進的技術の導入								
特に配慮した事項								